

顎・口腔インプラント学入門（河奈裕正）

Introduction to Oral and Maxillofacial Implantology (Hiromasa Kawana)

キーワード

- ①科学
- ②研究
- ③歯科インプラント学
- ④顎顔面インプラント学
- ⑤医工連携

授業概要

総論と各論との二本立てで教授していく。総論では、科学と科学者の仕事について、また、研究の独創性を生み出す方法についての授業を行う。その上で、各論として、歯科におけるインプラントの研究と臨床とについて、歴史的背景から現在の状況について学び、解決していないテーマについて、大学院レベルで抽出していく態度を教授する。

授業科目の学修目標

総論：科学研究方法、研究の倫理と社会的責任、発表方法、各論：歯科におけるインプラント学での研究方法、研究独創性の模索方法を修得する。

授業計画

- ①総論：顎・口腔インプラント学の意義と顎・口腔インプラント診断学の基本
 - ・研究者とは何か 2コマ 河奈裕正
 - ・研究方法について 2コマ 河奈裕正
 - ・独創性を生み出す考え 2コマ 河奈裕正
 - ・研究方法 2コマ 河奈裕正
 - ・論文発表の仕方 2コマ 河奈裕正
 - ・学会発表の仕方 2コマ 河奈裕正
 - ・研究倫理の再確認 4コマ 河奈裕正
 - ・研究の社会貢献と後進の鼓舞 2コマ 河奈裕正
- ②各論：
 - ・歯科インプラント研究 4コマ 河奈裕正
 - ・顎顔面インプラント学研究 4コマ 河奈裕正
 - ・医工連携 4コマ 河奈裕正

教科書および参考書

坪田一男著:理系のための研究ルールガイド、Blue Backs、2015

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

授業項目とそれに関連する学術論文を熟読し、概要の理解が求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 顎・口腔インプラント学の意義を理解し、診断学の基本を説明し、医学、歯科医学全般と顎・口腔インプラント学研究領域における倫理規範を理解し応用することができる。
- ② 歯科、および、顎・口腔インプラント学の研究論と医工連携とを理解し実践することができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
40%	0%	30%	0%	0%	30%	0%

評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を判定する。1回40%
- ・レポートは、総論、各論の2項目について課題を提出する。15%×2回=30%
- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い知識の理解度を判定する。1%×30回=30%

理想的な達成レベルの目安

顎・口腔インプラント学入門の理想的な達成レベルは80%以上とする。特に、倫理的な理解に関しては100%を求める。